

平成30年6月6日発行

益田翔陽高等学校同窓会

No. 10



会 報

発行 島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局 赤陵会館内 益田市あけぼの東町13-1 TEL 0856-23-1619 FAX 0856-25-7044 HP http://shoyo.info/

平成30年度 第10回 益田翔陽高同窓会定例総会

「第10回定例総会を迎え 同窓会のさらなる発展を」



会長 三輪 正樹

『翔世不磨』 『次代へ繋ぐ絆』

校門までの坂道脇の桜やつつじの花が、つい先日まで登下校する生徒を温く見守っていました...

さて、同窓会は今日まで多くの方々にご支援、ご協力をいただき、困難なことでもございましたが、こうして無事、第十回目の定例総会を迎えられることを誠に嬉しく思います...

二つの学校が統合しましたが、同窓会についても先輩方のご尽力により、連綿と受け継がれて今に至ります。学校の歴史を大切に合併しましたが、それぞれの伝統を持つ両校です...

思いが安定した同窓会の活動に繋がってきていると思っております。そして、四十五歳を迎えた同窓会員が、定例総会実行委員会(当番期)を組織し、①自主、開放、祭り型 ②当番期主催 ③開催経費は自己調達、という従来のこの型を受け継ぎ、実施していることは、同窓会発展の大きな原動力となっております...

Table with columns for (1) 転出者・退職者 and (2) 転入者・新任者. Rows list names and positions for various departments like 教頭, 教諭, 講師, 事務, etc.

最後に、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、総会当日皆様にお会いできることを楽しみにして会報に寄せる言葉といたします。

「感謝して日々改善」

益田翔陽高等学校

校長 吉岡正弘



全国的に冬の寒さが厳しいうえに、立春を過ぎる頃から本格的に春の訪れを感じる温かさとなり、本校の校門に向かう坂道が昨年より十日程度早く校トンネルを作ってくれました。

私は伝統と輝かしい実績のある本校に赴任して二年目となりました校長の吉岡正弘様と、成果が求められる年となりました。本年度は、教頭、事務長もフレッシュで、計十三名の新任者が吉岡丸に乗船し、船出をしたところでございます。

さて、全国の益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校の卒業生におかれましては、ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育にご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。平成二十九年、同窓生の皆様から体育の施設設備補助、視聴覚教室のリフレッシュ用品、部活動への備品補助、式典用の演台等、物心両面にわたり心温まるご支援を頂戴いたしましたこと重ねて感謝申し上げます。皆様の心持を素直に受け取った生徒の言動は、地域の皆様から賞賛を得ることが多く、二十件あまりのお褒めの連絡がございました。

行事、部活動の充実、授業の質の向上、集団の力学的・心理学的効果等を考慮しますと一学年四学級、全校三年生十学級は、ボーダラインとして死守しなければならぬと強く心しておりました。

そのような学校の現状への対応策として本年度は①授業改善②進路指導の充実③情報発信の高度化の三点を学校経営の重点としております。

一点目は、授業改善です。授業は「日々改善」すべきものであり、教職員が全員で共通して構造化を図ること(「ユニバーサル化」)や授業実践の中で思考力・判断力・表現力を高める工夫することにより生徒に社会で逞しく生き抜く力を醸成しようと考えています。

情報のインプット力は、漢字検定及び週一回の全校漢字テストの導入と朝読書の充実、情報の編集力は、新聞の活用による社会情を意欲した授業実践(「NIE(Newspaper in Education)」の活用)、情報のアウトプット力は、授業中の振り返りの工夫、読書感想文・意見文等の指導の充実によりプレゼンテーション能力の底上げを行うつもりです。

三位一体の改革により読む・書く・表現することの体系的な力を育んで、生徒の社会人基礎力をできるだけ高めるよう基盤づくりをしたいと考えております。

二点目は、進路指導の充実です。学校の三つの保障として①安全②学び③進路と考へ、進路指導の充実により生徒一人一人の自己実現を図ることとしていきます。そこで、本年度は進路検討会の拡充を考えております。昨年度、二年生を対象として多くの教員が各生徒の進路について考える会を実施しました。進路検討会とは、一年生から生徒一人一人の状況・適性・能力を多くの教員の情報交換で把握して進路指導に結び付けようとするものです。担任や科の教員だけでなく関わる全教員が本人の進路適性を考えていくための手段です。

また、本校に入学してくる生徒の個性も「多様化」しており、早め主体的・意欲的に進路について考えていくよう、刺激的な与えしていくことが大切であると考え、多くの教員の情報を集約して提供していくこととしていきます。しかし、人の質的・量的に関わりや多様な体験の少ない生徒が多くなってきた中で、自分自身の進路決定が不透明なまま三年生となる現状があり、進路決定を主体的に行うことが遅れがちになってきています。そんな状況の中、手をこまねいているだけでは、ますます窮地にたたえられてしまいます。そこで、希望者には、基礎的な学力を土台とするために某業者の学習支援システムを紹介して自主的に基

「ご挨拶」

益田翔陽高等学校

教頭 佐々木雅典



益田翔陽高校に赴任し、はや二か月が過ぎようとしています。初任校であった旧益田工業高校をはじめと、工業高校のみの勤務経験しかなかった私にとり、工業科二科(電子機械・電気)、生物環境工学科(総合学科の計四学科)からなる県唯一の複合型専門高校である益田翔陽高校はとて新鮮であり、日々新たな発見をさせていたいただきながら勤務しております。また、多くの卒業生のもとで同窓会をはじめ地域の関係者の方々の支えがあったの学校であると日々感じております。

さて、本校は今年度百二十七名の一年生を迎え全校三百八十六名でスタートしました。一学年四クラスで四百名を切ったの船出です。生徒数減が懸念されてきた昨今、高校生活を益田翔陽で過ごしたい、将来の希望進路実現のために益田翔陽でぜひ学びたいという子供たち、そして、今年度も教育目標としていたという保護者をはじめとした地

礎学力を身に付けていくチャンスを提供することを考えています。備えあれば憂いなしです。三点目は、情報発信であります。昨年度はホームページの掲載項目が三十七件、「SHOYO BLOG」が二一件でした。昨年度の中途から「SHOYO BLOG」というSNSによる情報発信を始めました。これは、生徒による情報発信です。生徒が中学生の時にこんな情報に触れたら益田翔陽高校の魅力がよく伝わるという視点で情報の選択をして発信している「SHOYO」の発信回数を増やすとともにより受け手の立場に立ったものにして考えています。また、学校案内につ

いては昨年度、生徒の意見をもとに改定いたしました。十年ぶりの改定です。この学校案内については、今年度も生徒の意見を集約して更に生徒目線のものにしようと考えています。多くの同窓生の皆様に支えられて本校が存在していることを常に肝に銘じて、吉岡丸の乗船人数を増やし、教職員・生徒ともども「自立貢献」して地域から信頼されるよう、鋭意努力する覚悟であります。

最後になりましたが、同窓会の皆様方へ今年度のご健勝とご活躍を心より祈念しまして挨拶といたします。

「力」の源です。翔陽高校の活「力」、魅力ある高校となるよう、充実した高

域の方々がより多くなっていただけたことを強く思っています。「数」は「力」の源です。翔陽高校の活「力」、魅力ある高校となるよう、充実した高

このように益田翔陽高校は単にホップ・ステップ・ジャンプで終わるのではなく日々ステップアップし、子供たちの輝き・学校の輝きが増していく複合型専門高校、地域に根ざした高校となるよう、吉岡校長の指導方針である「凡事徹底」「日々改善」を礎に教職員一丸となり努力し、翔陽高校生が総合的な人間力を身につけ自立して社会貢献できる人となるよう育成に努めてまいりますので、同窓会の皆様のご助力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後にになりましたが、益田翔陽高校同窓会のみならずのご発展と、同窓会会員・ご家族の皆様のご健勝を祈念いたします。

平成29年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場	
4. 9 15:00~	平成29年度 第9回同窓会定例総会実行委員会結成大会	赤陵会館会議室	6. 11 10:00~	平成29年度 第9回 同窓会定例総会	サンパレス益田	
4. 11 9:30~	平成29年度 益田翔陽高校入学式	翔陽高校体育館	7. 12 19:00~	同窓会 第2回理事会	赤陵会館会議室	
4. 17	18:00~	同窓会 会計監査	赤陵会館会議室	9. 3 11:00~	第4回 関西支部同窓会	大阪新阪急ホテル
	19:00~	同窓会 役員会 (正副会長会)	赤陵会館会議室	2. 6 19:00~	同窓会 役員会 (当番期との顔合わせ)	赤陵会館会議室
4. 21 18:30~	同窓会 第2回選考委員会	赤陵会館会議室	2. 28 11:00~	第10回 同窓会入会式	翔陽高校体育館	
5. 8 19:00~	同窓会 第1回理事会	赤陵会館会議室	3. 1 9:30~	平成29年度 益田翔陽高校卒業式	翔陽高校体育館	
6. 10 8:30~	同窓会 第5回親睦ゴルフ大会	萩・石見CC				

平成29年度 同窓会決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1) 会 費	1,512,000	1,512,000	0	H28年度卒業生 @12,000×126人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	300,391	648,415	△ 348,024	貯金利息, 甲子園寄付残金 200,000
4) 繰越金	319,609	319,609	0	
収 入 合 計	2,132,000	2,480,024	△ 348,024	△は収入決算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1 事業費	1,705,000	1,672,635	32,365	
1) 組織強化費	550,000	548,967	1,033	支部総会開催支援
2) 総会对策費	350,000	350,000	0	定例総会準備委員会対策
3) 入会記念費	300,000	282,668	17,332	卒業証書ホルダー, 同窓会の葉
4) 会報印刷費	55,000	61,000	△ 6,000	会報350部 (100部増刷)
5) 母校助成費	400,000	400,000	0	
6) 慶弔費	50,000	30,000	20,000	祝儀, 香典
2 事務(管理)費	345,000	279,225	65,775	
1) 会議費	25,000	6,347	18,653	役員 (正副会長) 会, 理事会
2) 役務費	200,000	160,000	40,000	監査・職員手当他
3) 需要費	100,000	104,168	△ 4,168	事務用品, HPホスティングサービス他
4) 雑 費	20,000	8,710	11,290	
[(1+2) 支出計]	2,050,000	1,951,860	98,140	
「収支差額」	82,000	528,164	△ 446,164	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年行事引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
[特定資産取得支出計]	0	0	0	
4 予備費支出	82,000	0	82,000	
予備費支出	82,000	0	82,000	
支 出 合 計	2,132,000	1,951,860	180,140	△は支出決算増額を示す

収支差引額 528,164

収入 2,480,024 - 支出 1,951,860

平成30年度 事業計画 (案)

		益 田 翔 陽 高 校 同 窓 会	
本 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会の開催 (毎年6月) ○ 総会開催助成 (45才期当番実行委員会へ) ○ 役員会 (正副会長会) ○ 入会式 ○ 同窓会の菓 ○ 母校助成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第6回同窓会親睦ゴルフ大会 (総会前日) ○ 理事会 ○ 会報の発行 ○ 入会記念品 ○ 支部組織強化対策 ○ その他 	
支 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支部総会開催支援 ○ 関東支部総会 ○ その他 		

平成30年度 同窓会予算書(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1) 会 費	1,548,000	1,512,000	△ 36,000	12,000円×129人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	836	300,391	299,555	貯金利息等
4) 繰越金	528,164	319,609	△ 208,555	
収 入 合 計	2,077,000	2,132,000	55,000	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費	1,355,000	1,355,000	0	
1) 組織強化費	550,000	550,000	0	支部会開催支援
2) 入会記念費	300,000	300,000	0	卒業証書ホルダー、同窓会菓
3) 会報印刷費	55,000	55,000	0	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔
2 事務(管理)費	515,000	345,000	△ 170,000	
1) 会議費	25,000	25,000	0	役員会
2) 役務費	370,000	200,000	△ 170,000	役職員(庶務・監査)手当
3) 需要費	100,000	100,000	0	事務用品他
4) 雑 費	20,000	20,000	0	
〔(1+2) 支出計〕	1,870,000	1,700,000	△ 170,000	
「収支差額」	207,000	432,000	225,000	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年行事引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
〔特定資産取得支出計〕	0	0	0	
4 予備費	207,000	82,000	△ 125,000	
予備費	207,000	82,000	△ 125,000	
支 出 合 計	2,077,000	1,782,000	△ 295,000	△は支出予算増額を示す

【特別会計】 平成30年度同窓会定例総会对策費予算書 (案)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
総会对策費	350,000		△ 350,000	前年度定例総会実行委員会より
収 入 合 計	350,000	0	△ 350,000	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事業費	350,000		△ 350,000	H30定例総会実行委員会へ
支 出 合 計	350,000	0	△ 350,000	△は支出予算増額を示す

特定資産	3,511,928 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 063177
	1,501,237 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 020869

平成三十年度(第十回) 益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

- 一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月十日(日)に開催する。
- 二、この定例総会は、平成三年卒業の当番期生を主軸に構成する「平成三十年度定例総会実行委員会」が主催する。
- 三、総会は、これまでの同窓会で開催されていた「自主・開放・祭り型」形式を継承する。
- 四、総会開催資金は、総会参加会費収入より調達する。
- 五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に関する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場

午前の部		日		程		会場	
九時〇〇分～	一一時〇〇分	総会受付	定例総会	サンパレス益田			
一一時〇〇分～	一二時〇〇分	記念講演	定例総会	サンパレス益田			
一二時〇〇分～	一二時四十分						

平成30年度 益田翔陽高等学校同窓会 定例総会プログラム

と き:平成30年6月10日
と ころ:サンパレス益田

- ◎ 受付 9:00 ~ 10:00 1F ロビー
- ◎ 定例総会 10:00 ~ 11:00 2F 総会会場
 - 開会宣言
 - 総会実行委員長挨拶
 - 同窓会長挨拶
 - 学校長挨拶
 - 祝辞・招待者紹介、祝電披露
 - 議長団選出・議事手続
 - 議事
 - 第1号議案 会務報告
 - 第2号議案 平成30年度事業計画・収支予算(案)
 - 第3号議案 その他
 - 閉会宣言
- ◎ 記念講演 11:00 ~ 11:45 2F 総会会場
 - 講演者紹介
 - 記念講演
 - 演 題 『命を繋ぐお手伝い ~産まれてくれてありがとう~』
 - 講演者 山本喜久子 (翔陽高校同窓会理事)

会場移動・休憩

- 受付: 11:30 ~
- ◎ 祝賀懇親会 12:00 ~ 15:00 2F 懇親会会場
 - 開宴のことば
 - 実行委員長挨拶
 - 来賓挨拶
 - 鏡開き・乾杯
 - 喜寿表敬者記念品贈呈式
 - アートラクション
 - 閉宴のことば
- ◎ 引継ぎ式 15:00 ~ 15:30 2F 懇親会会場
 - 開式のことば
 - 校歌斉唱
 - 同窓会旗・ハッピー引継ぎ
 - 次期当番期生(平成3年度卒)代表挨拶
 - 万歳三唱
 - 閉式のことば

午後の部		日		程		会場	
一一時三〇分	一二時〇〇分	祝賀懇親会受付	祝賀懇親会	サンパレス益田			
一二時〇〇分	一二時三〇分	引継ぎ式	祝賀懇親会	サンパレス益田			
一二時三〇分	一五時〇〇分						

二、総会スローガン
(メイン)『翔世不磨』
(サブ)『次代へ繋ぐ絆』

三、定例総会の参加動員計画

- (1) 会員の参加が幅広く多数得られるよう、ポスター宣伝と会員券の販売に努める。
- ① 会員券の計画的割り当て販売。
(職域は各個人の勤務先に依頼する。本会の協力も得る。)
- ② 会員券は、各科に割り当てとする。
- (2) 総会の招待者
同窓会役員、来賓、歴代の総会実行委員長、同窓会関係者、当番期各科の恩師
- (3) 喜寿(七十七歳)を迎えられた総会出席者の先輩に「表敬記念品」を贈呈する。

実行委員長

(平成三年機械科卒業)



和田 誠

本年の実行委員を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

平成三十年度益田翔陽高等学校同窓会定例総会の開催にあたりまして、三輪正樹同窓会長をはじめ本会役員の皆様方、そしてお世話下さった関係者の方々には、ご指導ご鞭撻賜り厚く御礼申し上げます。

この度のステージを迎えてほしいと思います。この度、実行委員長を仰せつかり、節目の年として貴重な経験をさせて頂き、この機会を与えてくださった先輩方には、大層感謝しております。

六月十日の定例総会には、当番期生一丸となつて、ご来場の皆様方に喜んでいただけるよう、努めて参ります。

◆平成30年度 益田翔陽高校同窓会 ◆ 企画調整会議役員名簿

役 職 名	氏 名	卒 業 科
委 員 長	和田 誠	機 械 科
副 委 員 長	福原 満彦	農 業 科
部 門 長	佐々木 圭吾	機 械 科
	山崎 裕子	工 業 化 学 科
	石田 淳一	農 業 科
	岡崎 暢広	機 械 科
副 部 門 長	領家 康伸	機 械 科
	上田 幸治	食 品 化 学 科
	田中 典幸	電 気 科
	又賀 恒浩	食 品 化 学 科
事 務 局 長	村上 宏明	機 械 科
会 計 長	岡崎 健次	機 械 科
	石田 卓也	電 気 科

本年度は、平成最後の定例総会になり、第十回目の節目の年にあたります。隔年で開催する記念講演も、節目の年ということで、昨年到现在に開催させていた、初代の女性講師で、幾度となく命をつなぐ瞬間に携わってこられた益田農林高等学校出身の助産師の方の講演です。記念品におきましても、十回目の節目の年ということから、これまで、そして、これからの時を刻む思いを込め、ペンスタンド型の時計にいたしました。

次の二十年、三十年に向けて、次代へ繋いで行く思いを込め、「『翔世不磨』次代へ繋ぐ絆」というスローガンを掲げました。「翔世不磨」とは、百世不磨の造語で、これまで受け継がれてきた伝統精神を次の世代に繋いで行く大切さを表現したもので、翔陽高校の伝統精神は永久に不朽であるという意味です。

次代へ繋ぐために、大切なこと。受け継ぐ伝統は、しきたりではなく、その精神であり、新時代の新たな取り組みで、翔陽高校同窓会

母校は合：

翔陽高校近況報告

生物環境工学科 田原 伸治

(昭和59年3月 益農園芸科卒)

平成29年4月11日、電子機械科35名、電気科26名、生物環境工学科36名、総合学科40名の新入生計137名を迎え、新年度がスタートしました。

学校行事・部活動・資格試験・課外活動などに積極的に取り組み、個人の成長や、学校のPRに努めた一年となりました。

そして、平成30年3月1日、129名の卒業生が進学・就職とそれぞれの新たな進路へと巣立っていきましました。

平成29年度の行事と出来事

- 【四月】
 - 10日(月) ・1学期始業式
 - 11日(火) ・入学式・対面式
 - 26日(水) ・1年遠足
 - 29日(金) ・緑の市
 - 【五月】
 - 1日(月) ・生徒会・農ク・家ク合同総会
 - 14日(日) ・中間試験(〜16日)
 - 14日(日) ・PTA総会
 - 16日(火) ・県総体壮行式
 - 18日(木) ・地域とのふれあい事業(サツマイモ植え付け)
 - 21日(日) ・測量士補資格試験
 - 26日(金) ・前期総体(〜28日)
 - 【六月】
 - 1日(木) ・後期総体(〜3日)
 - 4日(日) ・第2種電気工事士試験(筆記)
 - 5日(月) ・総体報告会
 - 11日(日) ・第1回避難訓練
 - 14日(水) ・危険物取扱者試験
 - 14日(水) ・夕方ふれあい市

- 22日(日) ・2級土木施工管理技士試験
- 19日(木) ・農クふれあい事業
- 18日(水) ・1年生進路ガイダンス
- 14日(金) ・創立10周年記念式典
- 14日(金) ・2年生PTA体験講話
- 5日(木) ・体育祭
- 19日(木) ・夕方ふれあい市
- 19日(木) ・創立10周年記念式典
- 18日(水) ・2年生PTA体験講話
- 18日(水) ・1年生進路ガイダンス
- 19日(木) ・農クふれあい事業
- 22日(日) ・2級土木施工管理技士試験

- 25日(水) ・農ク全国大会(〜26日)
- 26日(木) ・1年生PTA体験講話
- 【十一月】
 - 5日(日) ・翔陽祭(〜6日)
 - 9日(木) ・第2回避難訓練
 - 12日(日) ・危険物取扱者試験
 - 14日(火) ・2年県外企業学校視察
 - 30日(木) ・期末試験(〜5日)
 - 【十二月】
 - 3日(日) ・第1種電気工事士試験(技能)
 - 5日(火) ・生徒会等 立会演説会 合同選挙
 - 6日(水) ・夕方ふれあい市
 - 13日(水) ・A科課題研究発表会
 - 14日(木) ・校内ロードレース大会
 - 17日(日) ・2級機械保全技能検定(学科)
 - 20日(水) ・G科課題研究発表会(〜21日)
 - 25日(月) ・2学期終業式
 - 【一月】
 - 9日(火) ・3学期始業式
 - 19日(金) ・推薦入試
 - 26日(金) ・3年期末試験(〜31日)
 - 29日(月) ・1・2年中間試験(〜31日)
 - 【二月】
 - 1日(木) ・S科課題研究発表会
 - 2日(金) ・E科課題研究発表会
 - 4日(日) ・危険物取扱者試験
 - 7日(水) ・1年地元企業見学
 - 8日(木) ・2年生進路ガイダンス
 - 10日(土) ・県総合学科研究協議会・発表会
 - 10日(土) ・課題研究発表会(グラントワ)
 - 16日(金) ・3年生を送る会(グラントワ)
 - 27日(火) ・第3回避難訓練
 - 1・2年期末試験(〜3/3日)

28日(水) ・同窓会入会式

【三月】

1日(木) ・卒業式

6日(火) ・H29年度入学者選抜試験(学科)

7日(水) ・H29年度入学者選抜試験(面接)

9日(金) ・校内球技大会

24日(金) ・3学期終業式・離任式・大掃除

27日(火) ・入学予定者登校日

【体育祭】

10月5日(木) 体育祭が行われました。今年秋は秋になって長雨が続き、グラウンドでの練習もなかなかできず、予定日を一日延期して実施されました。3年生は、夏休みから準備をはじめ、就職試験・中間試験後の、忙しい日々を経ての体育祭開催となり、当日は、「今を楽しく陽気に翔べ〜SHOYO FESTIVAL〜」をスローガンに白熱した戦いを繰り広げました。

11月5日(日)、6日(月)の2日間には、翔陽祭が開催されました。4日は雨が降り空模様心配でしたが、当日には回復し、早朝6時前から翔陽高校伝統のPTAテント村の準備を行いました。当日には多くの保護者が集まり、農場では、朝から熱気にあふれていました。農場の各販売所には、午前9時の販売開始から長蛇の列ができて、販売終了時まで多くの人で賑わいました。教室棟内では文化系の部活・同好会・保健委員会などの各種展示、総合学科の喫茶店や食堂と展示、工業棟では、S科、E科の生徒によるクラスごとの屋台が並び、模擬店や課題研究作品、面白マシーン体験などで、来場された方々に楽しんでいただけようでした。午後からは有志生徒によるアイデア満載の石見神楽上演が体育館で行われました。

- 16日(金) ・農ク校内意見発表会
- 17日(土) ・第1回一日体験入学
- 21日(水) ・先輩からのメッセージ開催
- 29日(木) ・期末試験(〜7/4日)
- 【七月】
 - 4日(火) ・野球部・吹奏楽部壮行式
 - 5日(水) ・校内球技大会
 - 6日(木) ・県農ク意見発表会
 - 7日(金) ・校内農業鑑定競技会
 - 9日(日) ・機械保全3級試験(学科)
 - 14日(金) ・県農クプロジェクト発表会
 - 20日(木) ・1学期終業式
 - 23日(土) ・第2種電気工事士試験(技能)
 - 25日(火) ・県農ク鑑定競技会
 - 27日(木) ・小型建設機械講習(〜28日)
 - 29日(土) ・ローラー運転業務講習
 - 31日(月) ・高所作業車講習
 - 【八月】
 - 1日(火) ・クレーン運転業務講習
 - 2日(水) ・フォークリフト運転業務講習
 - 3日(木) ・夕方ふれあい市
 - 9日(水) ・クレーン/フォークリフト講習
 - 29日(火) ・農ク中国ブロック大会
 - 【九月】
 - 3日(日) ・第3種電気主任技術者試験
 - 5日(火) ・2年職場体験実習(〜8日)
 - 13日(水) ・夕方ふれあい市
 - 27日(水) ・中間試験(〜29日)
 - 30日(土) ・第2回一日体験入学
 - 【十月】
 - 1日(日) ・第1種電気工事士試験(筆記)

- 25日(水) ・農ク全国大会(〜26日)
- 26日(木) ・1年生PTA体験講話
- 【十一月】
 - 5日(日) ・翔陽祭(〜6日)
 - 9日(木) ・第2回避難訓練
 - 12日(日) ・危険物取扱者試験
 - 14日(火) ・2年県外企業学校視察
 - 30日(木) ・期末試験(〜5日)
 - 【十二月】
 - 3日(日) ・第1種電気工事士試験(技能)
 - 5日(火) ・生徒会等 立会演説会 合同選挙
 - 6日(水) ・夕方ふれあい市
 - 13日(水) ・A科課題研究発表会
 - 14日(木) ・校内ロードレース大会
 - 17日(日) ・2級機械保全技能検定(学科)
 - 20日(水) ・G科課題研究発表会(〜21日)
 - 25日(月) ・2学期終業式
 - 【一月】
 - 9日(火) ・3学期始業式
 - 19日(金) ・推薦入試
 - 26日(金) ・3年期末試験(〜31日)
 - 29日(月) ・1・2年中間試験(〜31日)
 - 【二月】
 - 1日(木) ・S科課題研究発表会
 - 2日(金) ・E科課題研究発表会
 - 4日(日) ・危険物取扱者試験
 - 7日(水) ・1年地元企業見学
 - 8日(木) ・2年生進路ガイダンス
 - 10日(土) ・県総合学科研究協議会・発表会
 - 10日(土) ・課題研究発表会(グラントワ)
 - 16日(金) ・3年生を送る会(グラントワ)
 - 27日(火) ・第3回避難訓練
 - 1・2年期末試験(〜3/3日)

28日(水) ・同窓会入会式

【三月】

1日(木) ・卒業式

6日(火) ・H29年度入学者選抜試験(学科)

7日(水) ・H29年度入学者選抜試験(面接)

9日(金) ・校内球技大会

24日(金) ・3学期終業式・離任式・大掃除

27日(火) ・入学予定者登校日

【体育祭】

10月5日(木) 体育祭が行われました。今年秋は秋になって長雨が続き、グラウンドでの練習もなかなかできず、予定日を一日延期して実施されました。3年生は、夏休みから準備をはじめ、就職試験・中間試験後の、忙しい日々を経ての体育祭開催となり、当日は、「今を楽しく陽気に翔べ〜SHOYO FESTIVAL〜」をスローガンに白熱した戦いを繰り広げました。

2日目には、主にステージ発表が行われ、保健委員会は「健康ネタ」を題材に全校生徒が参加するクイズ形式での発表、図書委員会では、「将棋大会」の結果を小説「聖の青春」の本の紹介とともに発表されました。また、書道同好会による書道パフォーマンス、生徒会企画のステージ発表や吹奏楽部の演奏など大変盛り上がりました。午後には生徒たちの迫力あふれるステージ発表があり、久しぶりに晴天に恵まれた2日間を生徒・保護者・教職員そして地域の方々の支えや協力により終えることができました。

課題研究発表会

3年生の全学科から、それぞれに選ばれた2〜3の研究テーマについて、グラントワ大ホールを会場に毎年2月に開催しています。3年間のまとめに相応しい各学科の特色をいかした活動内容の発表に、地元企業・保護者・一般の方々が多く来場され、生徒は、自分達の活動成果を工夫を凝らし分り易く発表し、高校生活最後の発表会として、良い経験になっています。

後記

平成30年度127名の生徒が、益田翔陽高校13期生として入学してきました。近年、生徒数は減少傾向にありますが、学校の歴史は毎年積み重ねられています。

同窓生の皆様には、翔陽祭や夕方ふれあい市、みどりの市などが一般公開されていますのでぜひ学校の方にもお越しただければとお待ちしています。今後も様々な方面でのご協力をお願いします。よろしくお願いたします。

以上、簡単ではありますが、母校、益田翔陽高校の近況報告とさせていただきます。